



Japan Ready-made Meal
Association

発信元：一般社団法人 日本惣菜協会
東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 2F
TEL: 03-6272-8515 FAX: 03-6272-8518

News & Information

2021年12月13日発信

惣菜製造業のDX化・ロボット化支援 プロジェクトをスタート

「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（ビジネスモデル構築型）」事業
惣菜製造業 30社にシステム構想設計とシミュレーション分析の提供

一般社団法人日本惣菜協会（本社：東京都千代田、会長：平井浩一郎／以下、協会）は、ロボット革命・産業IoTイニシャティブ協議会において日本惣菜協会が幹事を務める「食品TC」のメンバーである、株式会社FAプロダクツ（本社：東京都港区、代表取締役：貴田義和）とともに、中小惣菜製造業の協調領域における共通課題の明確化、実現化に向けたシステム構想設計とシミュレーション分析を提供するプロジェクトの推進をスタートした。本プロジェクトは、株式会社FAプロダクツが採択された、独立行政法人中小企業基盤整備機構が進める「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（ビジネスモデル構築型）」事業であり、協会会員企業30社を対象に、課題解決を支援する。

1. イノベーション・エコシステムの構築

独立行政法人中小企業基盤整備機構が中小企業生産性革命推進事業として実施している「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（ビジネスモデル構築型）」は、民間サービスとして継続的に中小企業のビジネスモデル構築・事業計画策定を支援する「拡張可能な先駆的プログラムの立ち上げ」を後押しすることで、中小企業が持続的に経営革新に取り組んでいける「イノベーション・エコシステム」の構築を目指す取り組みである。

具体的には、中小の惣菜製造業が、①革新性、②拡張性、③持続性、を有するビジネスモデルを構築できるよう、協会会員企業30社を対象として、共通課題を明確化し、中小企業を支援するプログラムの開発・提供を補助する。中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援する。

2. 急激な市場環境の変化とデジタル人材不足～中小製造業を取り巻く環境と課題～

中小惣菜製造業においては、市場環境の急激な変化や人手不足を中心に課題が山積している。さまざまな解決策を検討しているものの、自社では構想ができないうえ、投資対効果が明確にならない、或いは、投資対効果が十分期待できないために投資に踏み切れず、経営革新が滞っているのが現状である。

■課題①：現場の課題を踏まえて中小惣菜製造業の課題を解決できる「DX、ロボット化実現支援先」
「支援プログラム」が存在しない

中小惣菜製造業が直面している課題は、大量生産から変種変量生産への変化、短納期への対応、価格競争、技術継承、脱炭素化に向けた取り組みなど、多岐に渡る。その解決策として、自動化やロボット導入、DX化が有効であると気付いてはいるものの、「適切な相談先が分からない」、「何から着手して良いか分からない」、「効果が不明瞭で投資判断ができない」という悩みを数多くの企業が抱えている。

■課題②：市場環境の急激な変化に対応するための「ロボット、デジタル技術活用」人材が不足

日本経済を支える製造業は、他の産業と同様に急激な市場環境への対応が迫られている。消費者ニーズの多様化に対応するために、一つの商品をさまざまな仕様で製造する「多品種少量生産」、新型コロナウイルス感染拡大や自然災害、貿易摩擦をはじめとする「世界の政策不確実性の高まり」など、変化が激しい時代で勝ち残るために必要なDX化、ロボット化を推進する人材の不足は深刻な状況である。

3. DX化、ロボット化実現の最初の一步を「構想設計」と「シミュレーション分析」で支援

中小惣菜製造業のDX化、ロボット化実現における最初の一步を、構想設計とシミュレーション分析を核にしたプログラムの提供で支援する。また、「投資対効果」を明確にすることで、幅広い業種の企業における持続的な経営革新に寄与する。

【本プログラムの特徴】

①中小惣菜製造業でも導入可能な「シミュレーション支援プログラム」

- ・中小惣菜製造業がリスクなく導入でき、実施が早い
- ・支援企業側にエンジニア不要で、導入ハードルが低い
- ・幅広い知見が必要な技術領域を一気通貫でサポート

②地域等の制約なく幅広い中小企業で導入が可能

- ・導入地域等、制約はなく、あらゆる中小惣菜製造業の事業者に対応可能
- ・自動化（構想設計）や生産管理だけでなく、エネルギー管理や物流管理など、多項目に拡張可能
- ・事業計画の策定と組み合わせることで、中小惣菜製造業の自立を促進

③中小企業のものづくり現場の企業変革力を向上させ、直近の国家政策にも寄与

- ・令和2年7月17日閣議決定「成長戦略フォローアップ」
- ・経済産業省、厚生労働省、文部科学省「2020年版 ものづくり白書 概要」

④投資効果の最大化

- ・業界の共通課題に対して、多くの企業が使えるシステムを構築、共有化し、規模の経済でシステムの価格を低減させ、投資額を下げ投資効果を最大化する



【支援プログラムの内容】

①実例を用いたワークショップ

本プロジェクトの概要説明とあわせ、「シミュレーション」を理解するための実例を用いたワークショップを実施し、DX・ロボットの理解を深め、DX化・ロボット化実現による課題解決を自社に当てはめて理解する。

②リサーチ及び分析支援

ヒアリングとリサーチによって、「現場の自動化」「業務の効率化」等、業界の共通課題を明確化する。

③構想設計・シミュレーション分析

リサーチ・分析で決定した項目に対して、ベンチマークとして優先順位が高い項目の簡易構想設計（概算費用算出）とシミュレーション分析による効果検証を実施。投資対効果を明確化する。

④実現ロードマップ作成

分析結果と構想設計・シミュレーション結果を参考に、今後の生産戦略に関するロードマップ作成を支援。各社が目指す姿にあわせて、事業継続のために強化すべき工程、機能、体制などを策定。

【参加企業】五十音順

株式会社味の和路	株式会社クリタエイムデリカ	株式会社ヒライ
アステピア株式会社	株式会社クリハラ	株式会社フードサポート四国
イケウチ株式会社	サトウ産業株式会社	株式会社フルックス
株式会社今里食品	株式会社三和製玉	株式会社マルハ物産
株式会社魚宗フーズ	株式会社ジャンボリア	万星食品株式会社
株式会社太堀	株式会社セイブ	株式会社みすずコーポレーション
沖食スイハン株式会社	株式会社デリカサイト	株式会社ヤマザキ
角井食品株式会社	株式会社はたなか	株式会社吉田喜
株式会社キヌヤ	株式会社ひまわり食品	2021年12月1日現在

《協会概要》

名称	一般社団法人 日本惣菜協会
所在地	〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 2F
電話番号	03-6272-8515
ホームページ	https://www.nsouzai-kyoukai.or.jp/
創立	1977年5月
設立	1979年5月 社団法人設立認可 2013年4月 一般社団法人に移行（内閣府許可）
会員数	会員 373 社 賛助会員 228 社 協力会員 33 社 合計 634 社 （2021年12月1日現在）

※この件に関する問い合わせ先

一般社団法人 日本惣菜協会 担当：高橋、荻野までお願い致します。

TEL：03-6272-8515 FAX：03-6272-8518 E-mail：souzai-info@nsouzai-kyoukai.or.jp